

サシバエ対策を学ぶ 防虫ネットでアカバネ予防も



東部管内青年部(内海利彦部長)は、これから発生する吸血性の「サシバエ」の予防対策」として、永井専門技術員(兵庫県立農林水産技術総合センター企画調整経営支援部)を講師に迎え、畜産関係者ら会員十名の出席のもと研修会を開催した。

講師は、サシバエによるストレスは乳量や発育遅延、乳房炎の原因にも及ぶと指摘。対策には脱皮阻害剤や成虫殺虫剤等の薬剤散布、また、地元・兵庫県 の畜舎で使用した防虫ネットの

特徴的な試験研究結果をもって、その有効性を紹介された。
同部会研修を担当する新舎和久氏は「サシバエの侵入には防虫ネットが有効とあったが、これには蚊の媒介で感染するアカバネ対策にも効果がある。昨年のもともあり、アカバネ対策にはワクチン接種を行い、今日の研修で得た知識を実践出来るよう対策をとりましょう。ネット設置の際には是非、関係機関にも協力頂きたい。今後も研修会を重ねて技術向上に努めていきたいと思います」と締めくくられた。研修会では活発な質問が上がり、有意義な研修会となった。

○今月の表紙

協和

▼表紙写真をご欄になってどんな印象をもたれましたでしょうか？

▼若人の笑顔、輝いていますよね。

▼写真は、広酪本所の住所地がある地元「三次高校」の行事「体育大会」の演目「組み体操」を終えた生徒達の達成感・満足感が漂う空気に感じ、思わずその場面に駆け寄りショットしたものだ。

▼この「組み体操」、同校の生徒数七百四十名の内、男子生徒三百四十一名の全員が参加し、実に見応えがあった。

▼最近では、生徒数の減少や怪我等の危険リスクを回避する考えからか、「組み体操」で『七段ピラミッド』の演技を目にする機会は少なくなつた。

▼団、チアリーディングほか数多くの演目練習、勉強、クラブ、補習授業などもあり、僅かな練習期間の中で、生徒達は頑張ったと聞いた。

▼練習では、生徒間の連帯感、集中力が生まれず、やる気に満ちた生徒、やる気の無い生徒の混在から気持ちのリーダーは悩んだと聞いた。

▼練習では、一度も成功しなかった『七段ピラミッド』が本番一発で大成功となり、千七百人を超える観客や女子生徒から、大きな歓声となりやまぬ拍手が贈られた。

▼退場した生徒は、『組み体操』のリーダーを激励し、お互いに喜びを分かちあっていた。

▼男子生徒それぞれの目は輝き、満足感、達成感に満ちあふれており、実に美しく、自身も感動し、遠い青春時代を思い出し懐かしかった。

▼広酪も「経営理念」達成にむけて、常に組合員、役職員が一体となり、「やりきった」と満足感、達成感が得られるよう更に躍進しなければとの思いを強めた。

▼体育祭のテーマは「協和」。我々の組織は酪農協同組合であるが、協同と協和を重ねて考えを深めてみたい。

